LiveShell X 使用方法 。1080年 FITH/M 1080年 FITH/M

PC不要のライブ配信&録画デバイスです。最大1080/60pのライブ配信機能、複数サービスへの同時ライブ配信機能、microSDカードへの録画機能など多彩な機能を搭載。

フルHDや同時配信、録画など、 新機能を搭載した最新モデル LiveShell X は PC不要のライブ配信&録画デバイスです。最大 1080/60ρ のライブ配信機能、複数サービスへの同時ライブ配 信機能、microSD カードへの録画機能など多彩な機能を搭載。 さ らに業務ユースに耐える安定性・堅牢性を備え、透過テロップの 差し込みにも対応した、業界最強クラスのライブ配信機器です。

【LIVE配信にご用意いただくもの】

- ■ビデオカメラ(HDMI出力のあるもの)×1台
- ■HDMIケーブル×1本
- ■LiveShell Xレンタルセット×1式 ※1内容物
- ■スマートフォン 又は タブレット 又は PC
- ■有線LAN 又は 無線LANのネット環境
 - ※ネット環境の無い場所では使用できません。
- ※1 LiveShell X レンタルセット 内容物
 - · Cerevo LiveShell X 本体 ×1
 - ・USB WiFiアダプター x 1
 - ・専用ACアダプター-Aタイプ(日本向け)x1
 - ・電源ケーブル ×1
 - ・設定用ケーブル x1
 - ・専用ケース





- ①HDMI出力のカメラとLiveShell XをHDMIケーブルで 繋げる。
 - →カメラの方での難しい設定は一切ありません。

※LiveShell Xはフル充電の場合は 本体のみで6時間駆動



②LiveShell X本体自体に有線LANケーブルか 付属の無線LANアダプタのどちらかを差し込む。





※ネット環境の無い場所では使用できません。

③LiveShell Xの電源を入れ、言語設定を日本語を選択。



本体左上の電源ボタンを5秒間長押しで電源ON



右上が決定ボタン / 左下・右下が選択ボタン

④1分ほどで本体液晶画面に「初期登録待受中」と表示されれば、LiveShell X 本体のボタンで行う設定はいったん終了です。



⑤次に、お持ちのスマホ・タブレットやPCで

『LiveShell Xの<u>ダッシュボード』</u>にアクセスし、新規にアカウントを 作成。アカウントをお持ちの方はログインして下さい。



ダッシュボード入り口 ページ右 上 →ダッシュボードはこちらのアドレスから https://liveshell.cerevo.com/ja/



※新規アカウント作成は 登録メールにメールが届くので案内に沿ってお願い致します。

⑥ログイン後、一番右にある「LiveShell X」を選択し、 配信チャンネルを選択。



⑦配信するサービスを選択



⑧あとは、ダッシュボード画面の内容に沿って各それぞれの配信先サービスのサーバーURLとストリームキーなどを入力していくだけ

⑨ - 1無線LAN接続の場合、右図のような画面に移動するので、付属の設定ケーブルでスマホ・タブレットやPCと接続後、音量を最大にして再生ボタンを押すと、接続が行われます。



9 - 2

有線LAN使用の場合は有線LANケーブルを本体に差した時に本体に表示される4桁の数字を入力します。



※本体に数字が表示されていない場合は 一度LANケーブルを抜いて再度挿入して下さい。

使用する有線LAN情報の入力



⑩無事接続が終了すると写真のような画面になります。

「次へ」と押すとチュートリアルが始まります。



⑪最終的には以下のようなダッシュボード画面になります。

ダッシュボードは左側にストリーミングが表示され、

右側にコントロールパネルが表示されます。

回線種別や映像モードはここから選択でき、配信をスタートできます。



※さらに詳細の説明は下記メーカーページのオンラインマニュアルを ご覧ください。

https://liveshell-manual.cerevo.com/ja/liveshell-x/liveshell_x_home/

【その他、特徴】

■本体SDカードへの録画機能(H.264/H.265)を搭載

ライブ配信と同様に、最大で1080/60pのフルHDの映像を本体に装着したmicroSDカードに録画できる機能を搭載。

録画もH.264に加えてH.265にも対応しており、

H.265フォーマットでの録画デバイスとしても活用できます さらにライブ配信と同時の録画にも対応、ライブ配信と録画を LiveShell Xのみで実現。

録画はHDMI入力された映像に加え、専用サービス

「Dashboard」で挿入したロゴやテロップ映像も含む映像を 録画できます。

【その他、特徴】

■最大3ストリームまでの同時ライブ配信

LiveShell Xが対応するライブ配信サービスは、国内の主要な配信サービスをほぼサポート。さらに1080/60pのエンコード性能を分割することで、最大3つのライブ配信サービスへ同時に配信できます。

